

令和2年度 第1回与謝野町上下水道審議会

日 時 令和2年7月9日(木)
午後7時30分～午後9時29分

場 所 与謝野町野田川庁舎 2階 研修室

出席者	(学識経験者)	伊藤 委員	(使用者代表)	杉本 委員
		大江 委員		青木 委員
		糸井 委員		大下 委員
		小田 委員		大槻 委員
		芋田 副会長		宮崎 委員
				柴垣 会長

(欠席) (学識経験者) 小池 委員

与謝野町 山添町長

事務局 上下水道課
山添課長 赤西主幹 榊課長補佐 坂根課長補佐 大門課長補佐

○令和2年度第1回上下水道審議会次第

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 町長あいさつ
4. 水道料金・下水道使用料の改定についての諮問
5. 議 題
 - (1) 上下水道料金の改定について
 - (2) その他
6. 閉会あいさつ(副会長)

○会議の概要

1. 開 会 (19:30)

会議の成立状況の報告 事務局

2. 柴垣会長あいさつ

3. 山添町長あいさつ

4. 水道料金・下水道使用料の改定についての諮問 【山添町長から柴垣会長へ】

(町長退室)

5. 議 事

柴垣会長が議長に就任し、議事に入る。

○諮問趣旨について説明

「与謝野町水道料金、下水道使用料及び農業集落排水処理施設使用料の改定について(諮問)」
について事務局から説明。

(1) 上下水道料金の改定について

○資料に基づき事務局から「与謝野町水道事業の現状と将来見通し」について説明

(質疑応答)

委員

口径について、口径 13 mm、口径 20 mmとありますが、一般の家庭は口径 13 mmか。

事務局

一般的には口径 13 mmが多いです。

委員

口径が大きい方が高い、小さい方が安いというイメージでいいのか。

事務局

お見込みのとおりです。

委員

水道加入負担金について、与謝野町は口径が大きくなると特別に安いかなぜか。

事務局

合併時に安い町に合わせた結果だと思われます。

議長

一般家庭に多い口径は口径 13 mmと言われたが、口径 20 mm以上は工場や大口使用者か。

事務局

一般的には口径 13 mmと口径 20 mmを一般家庭用とすることが多い。
口径 25 mm以上になると、何か営業をされていると判断しています。
ハウスメーカーで新築される場合は、口径 20 mmが増えています。

議長

比較の中央値、口径別の平均値はどのあたりか。

事務局

水道料金を比較する場合には、口径 13 mm、1 か月の使用水量 20 m³ で比較することが多い。

議長

実際にそのくらいが多いのか。

事務局

家族構成にもよりますが、平均的なご家族で、ひと月あたり 20 m³ と言われている。

委員

2 カ月に 1 回の検針にすれば経費が削減できるが、漏水の発見のためには、毎月がいいと思う。
毎年どれぐらいの漏水件数があるか。

事務局

毎月 10 から 20 件ぐらいの申請がある。
季節的な要因もあり、冬季に寒波が来ると 100 件近い申請になることもある。

(資料により水道の現金預金の推移、耐震化事業の補足説明) . . . 事務局

委員

耐震化の想定震度は 6 とか 7 か。

事務局

本町で起こりうる最大の地震を想定しており、震度 7 相当。

議長

当年度純利益の推移と現金預金の推移の表で、純利益は令和 20 年度まで利益を計上する形となっているが、現金預金が減少している。施設整備のための企業債を返還していくために現金預金が減少しているのか。

事務局

お見込みのとおりです。

議長

新たに22億円を耐震化事業として投資する計画になっているが、補助金の足りない部分を企業債でみるとして、どのくらいを見込んでいますか。

事務局

補助率が悪く20%程度、企業債を残りの約80%程度と見込んでいます。

委員

別紙1の水道事業投資・財政計画の下の不良負債は、水道料金の未納ではないですね。

事務局

不良負債は無い。別紙2の流動負債から流動資産を引いたもので、資産より負債の方が大きいかどうかで、貸し倒れではありません。

○下水道事業について、資料に基づき事務局から説明

(質疑応答)

委員

下水の水洗化率が80.6%だが、水洗化率が100%では料金収入はいくらになるか。どれくらい赤字になるのか。

事務局

シミュレーションしてみないとわからないので、次回報告します。

委員

100%普及率になったら一般会計の繰り入れがいらぬのか、まだいるのか。

事務局

今回のシミュレーションは、水洗化率90%で算定しています。次回までに回答する。

委員

繰り入れが苦しいのか

事務局

一般会計を圧迫している。今後、起債償還額の減少により、基準外が増えて基準内が減っていくが、総額は令和4年度をピークに下がる見込み。

委員

シミュレーションでは、何年度に90%を見込むのか。

事務局

令和4年度を見込んでいる

委員

100%の見通しはないのか。

事務局

今はない。

委員

これではどうしたらいいのかわからない。

事務局

一つの考え方として、先ほど説明した流域下水道排水負担金は維持管理費や建設した資本費の与謝野町の負担分ですが、基準外繰入のうち排水負担金分については下水道使用料で賄うことが必要ではないのかと考えている。

委員

排水負担金は、建設をしていないので安くならないか。

事務局

排水負担金は汚水処理にかかった費用を与謝野町と宮津市との流量割で案分して負担しているもの。京都府に維持管理や経費を抑えていただけるよう、会議などで訴えている。

資本的支出の建設改良費には、町が実施する面整備や公共柵設置工事以外に流域下水道が管渠を整備する建設負担金も含まれている。

与謝野町と宮津市の計画水量をもとに案分して負担している。計画水量は、計画面積に原単位をかけて算出しているので、来年度の認可見直しの際に、開発される見込みのないところは、計画面積から外したいと思う。計画区域から外れた区域は浄化槽区域になります。

委員

答申はいつまでにと期限はあるのか。

事務局

答申まで、5回程度は、会議が必要と考えています。

(今後の審議内容等の説明)

委員

施設の老朽化や当初の過大設計もあると思うが、人口の減少に対して固定費が増えて、乖離してきているので料金を値上げしなければならなくなっていると思う。施設の維持管理と料金収入が大きく乖離してきているとのことなので、審議会としても、良い話しをしなければならないが、上水道と下水道の両方で、これしかないという案を出していただき、資料を作ってもらいたいと思う。

一番の原因は、人口減少にあり、すべての収入減に繋がっていると思う。施設の寿命が来ていることもあり、離れていくばかりで大変だと思うが、うまくまとめなければならないと思っている。

(2) その他

議長

その他、特になし

議長

次回の会議について、会長と事務局で相談して、数パターンの資料を作って審議をすすめることでいいか。

(異議なしの声)

議長

本日はここまでにして、次回の審議会については、事務局にお願いする。

事務局

5回程度とお願いしておりますが、できれば月に一回くらいのペースで進めたいと考えます。
(日程調整の結果、8月7日(金)を次回審議会開催日として決定)

6. 閉会あいさつ

芋田副会長 (21:29)

閉会挨拶で閉会